

▼ジアゾキシドカプセル [内]

【重要度】★★★ 【一般製剤名】ジアゾキシド diazoxide 【分類】高インスリン血性低血糖症治療薬

【単位】▼25mg/Cap

【常用量】■1歳以上の小児及び成人：3～8mg/kg/日 [開始時3～5mg/kg/日, 最大20mg/kg/日]

■1歳未満の乳児：8～15mg/kg/日 [開始時5～10mg/kg, 最大20mg/kg/日] いずれの場合も、血糖値に応じて適宜増減

【用法】分2～3 [8～12hr 毎]

【透析患者への投与方法】特に設定されていないが、半減期が延長する可能性があり、慎重投与 (1)

【その他の報告】CGMで管理したインスリンノーマの1例 (Shimizu M, et al: Intern Med 54: 621-5, 2015 PMID: 25786453)

225mg 投与で治療した1例 (Shaer AJ: Nephron 89: 337-9, 2001 PMID: 11598399)

【保存期 CKD 患者への投与方法】半減期が延長する可能性があり、慎重投与 (1)

【特徴】高インスリン血性低血糖症：ブドウ糖に対するインスリン分泌調節機構が破綻しているために、低血糖にもかかわらず膵臓β細胞におけるインスリン分泌が抑制されずに低血糖が遷延する疾患の総称で、多くは生後24hr以内に発症する。

【主な副作用・毒性】重篤な体液貯留, うっ血性心不全 [抗利尿作用がある], ケトアシドーシス, 高浸透圧性昏睡, 急性膵炎, 血小板減少, 嘔吐, 不快感, 頭痛, めまい, 頻脈, 腎障害, 発疹など. 過量投与で高血糖.

【吸収】食事の影響を受けない (1)

【F】資料なし (1)

【tmax】5～6hr (1)

【代謝】代謝され3位メチル基の水酸化体 (M-1) とそれに続く硫酸抱合体または3位カルボン酸体 (M-2) に変換 (1)

【排泄】尿中回収率約90%で、そのうち未変化体の割合は約30% (1) 【CL】腎 CL=25mL/min (1)

【t1/2】成人24～36hr, 小児9.5～24hr (1)

【蛋白結合率】90～93% (1) 腎不全で低下 (Pearson RM.: Clin Pharmacokinet 2: 198-204, 1977 PMID: 328207)

【Vd】資料なし (1)

【MW】230.67

【透析性】透析で血中濃度が低下した報告があるが正確なデータなし (1) 蛋白結合率が高く除去されにくいと思われる (5)

【TDMのポイント】小児患者の有効血漿中濃度は15～50μg/mLと推定され、このレベルを維持するための1日あたりの投与量は5～19mg/kg (1)

【OW係数】資料なし (1)

【相互作用】フェニトインの血中濃度低下 (1) チアジド・ループ利尿剤：血糖上昇作用及び血中尿酸上昇作用の増強 (1)

【更新日】20180409

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。